

平成22年度第2回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 平成22年11月12日（金）
午後3時～午後5時

2 開催場所 小牧市立図書館 1階 集会室

3 出席者 会長 大間知 千鶴子
副会長 多田 昭子
委員 木村 芳博
〃 森 勝昭
欠席者 委員 中川 裕子
〃 〃 百瀬 正昭
事務局 船橋館長
山田主幹
永井補佐
佐藤係長
林主査

4 議題 (1) 選書について
(2) その他について

5 会議資料 選書資料

6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『日本現行勲章図録』について

【事務局】 可が2、不可が1、保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 一覧表のものは見たことがない。冊子を開いた時に、きれいだなと思った。勲章がいいとか悪いとかはおいて、意外と皆さん知らないと思う。ビジュアルで見るのはいいと思う。

【委員】 保留にしたが、こういうものは一つあればいいのではないか。

【委員】 不可にした。勲章のいい悪いは、思想の問題にもなる。このことは別にして、この程度のものは、インターネットで見られるのではと思った。勲章を調べると言う人もあまりいないのではないか。

【委員】 とにかく面白いと思った。

【委員】 可の一人ですが。ひとつあればいいと思ったが、裏を見て最新現行とな

っているし、値段も高くない。解説の中に、国旗や日本独特の様々な文化につながる勲章が語られていて、発想の面白みを感じた。

【委員】 反対するものでもない。

【委員】 あまり目にしない本だから面白い。歴史とか受賞者とかはあるが、実物は余りないので意外にいいかもしれない。

【委員】 きれいなものであるとはいえる。

【委員】 普通の種類のものとは違うきれいさがある。

【委員】 歴史的なきれいさか、美術的なきれいさか。

【委員】 いらないと言われればそれまでだが。

【委員】 全部網羅してあるのか。

【委員】 掲上一覧がある。

【委員】 網羅してあるなら、購入してもよい。

【委員】 歴史とか受賞者総覧とか図録として面白い。

【委員】 誰かが受賞したって聞いて調べるか。

【委員】 そういうことではなくて、こういうものが昔から日本では有難がってきているという世界。図録としては、面白い。

【事務局】 図録として、1冊あってもいいかもしれない。

【事務局】 購入ということにします。

選書資料2 『近代日本彫刻集成』について

【事務局】 可が1、不可が1、保留が2ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 保留にしたのは、テーマが雑然としていると思った。載せた基準がわからないし、値段も高い。

【委員】 可にした。値段は少しはるが、図書館にぶらっときて、見るには面白い。あえて近代日本の彫刻とうたってあり、時期もある程度限定されている。本はたくさんあるようだが、全3巻位は図書館として、揃えておいた方がいい。

【委員】 非常に興味深いと思って見ていた。こういう視点で彫刻の集大成の本というのは余りない。作者自身の作品への秘めた思いもあるので内容的にはいいと思ったが、値段が高いので予算的に難しいと思って保留とした。

【委員】 本当に価値があるものが、載せてあるのか。

【委員】 細かいことは分からないし、どういう価値があるかは分からないが、値段が高いのと類書が多いとはいえないが、所蔵もある。余りにも専門的なものは美術大学等で借りればよいと思う。

【委員】 提案ですけど、今日のように4人と言う構成だと非常に難しい。分かれていく可能性が高い。これが5人だとまた違うし、3人だと

また違ってくる。いろいろなことを考えると、時間ばかりかかるので、できるだけ偏らないよう意見は意見として出し、結論を事務局に預けてはどうか。

【委員】 意見を聞いていただいて事務局に預けることにします。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料3 『尾洲家河内本源氏物語』について

【事務局】 可が2、不可が1 保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 可に直しましたが、素晴らしい本。図書館も新しくなるし、でも実際たくさんある。本文が写真になっているのは少ない。

【委員】 この類（たぐい）のものはない。

【委員】 蓬左文庫にあるものが見られる。限定250部。

【事務局】 飾って見せるものとしての役割がある。

【委員】 あってもいいかなと思う。

【委員】 研究そのものが、あらゆるものから出ている。

【委員】 元は、ここから出ている。

【委員】 これしかないと言うものでもないので、保留にした。

【委員】 元が、あってもいい。

【委員】 源氏物語自体は、需要は多い。

【委員】 値打ちがあるものだと思うし、源氏物語が、わかった人が楽しむ趣味の世界のものだと思う。そういう面では、価値があっていいと思うが、値段が高いので不可にしたが、あればすごいと思う。原本であることが大きい。知らない人には、訳がわからない。

【委員】 たくさんあるが、原本の写しはない。

【委員】 他に本に比べると、興味を持つ人は一般的には多い。新しい図書館にこういう本が入っているというのはいい。もし購入した場合は何か宣伝する必要がある。そうしないと死蔵してしまう。

【委員】 こういう本は、財産として価値があるので、置いてもいいのではと思う。

【委員】 何かの折に小牧の図書館にはこういう本があるという事を、重点的にPRしたほうがいい。

【委員】 知らないでいると、もったいない。

【委員】 貸出しなくて、閲覧用にしたいほうがいい。

【事務局】 今日のところは、事務局判断の保留にして、いずれ新館用の購入予算がつく時がくると思いますので、その時あらためて判断させていただきます。

【委員】 こういうものがあったらいいという、意見だけ出させていただきます。

選書資料4 『独歩 辻清明の宇宙』について

【事務局】 可が2、不可1 保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 見たいなと思いましたが。この本いいなと思いましたが。

【委員】 私は不可。

【委員】 類書は少ない。

【委員】 写真だけ見ていたら、すごい魅力がありました。奥深さは解らないが、いいのではと思った。

【委員】 彫刻といっしょで、焼き物にすごく興味がある人にはいい。著者の中に安部工房とか谷川俊太郎とかドナルド・キーンが書いているのかと思ったら、保留になってしまった。

【委員】 写真がいい。パンフレットもりっぱなのでその気になる。

【委員】 資料2の『彫刻』はピンとこなかったが、これは、心響くものがある。集めた人の美意識が現れている。写真がいい。

【委員】 よくわからないのは、これらの写真に、執筆者が、何を書いているのだろうかというのがよく読みとれなくて、本があって読むと面白のかなと迷わされた。

【委員】 こういうものは、何処がいいとか口では説明できない。日本のものだけでなくエキゾチックな感じのものもある。いいと思うが、所蔵本が2冊あって重複していないかが問題。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料5 『インド仏教美術史論』について

【事務局】 可が2、不可が1、保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 二重丸の可にした。類似の本も無い。インド仏教美術はすごく面白い。

【委員】 類書が少ないし、面白いと思った。

【委員】 インド仏教美術は素朴。

【委員】 美術史論だから論文でしょうか。

【委員】 そこでひっかかった。中身を少し読んだが、むつかしい。

【委員】 史論なので専門的。

【委員】 仏像とか寺社仏閣とか、中国の元の源流の所が出てくると思う良さがあると思う。写真とかはいいが、中身の文章が非常に難しいと思った。

【委員】 史論だから論文ですね。可にしましたが保留にします。

- 【委員】 御釈迦様の前世は動物だったり王様だったりいろいろある。そういう前世のジャータガによる絵がたくさんあると思う。これは、仏像しか書いてないが。専門的と言われれば専門的かもしれないです。事務局におまかせします。
- 【事務局】 事務局判断とします。

選書資料6 『書の総合事典』について

- 【事務局】 可が1、不可が1、保留が2ですので、ご協議をお願いします。
- 【委員】 類書が多い。特にこの分野は新しくなくてもいい。
- 【委員】 類書はあっても、新しいものは、『中国書道文化事典』しかない。総合事典というのはないと思うので、あってもいいように思う。道具とかそういうのが主ですか。
- 【委員】 そうです。書道史ですので、さまざまな道具も含めてどういう歴史の基に生まれてきたかというものです。
- 【委員】 これ購入したらいいと思う。前にもあったんですけど落款の定義が解らなかつたりするので。これは、あってもいいのではないか。書道をやっている人は結構多いので、需要もあると思うし、類似があるようでない。書道関係のものはあるけど。
- 【委員】 反対しません。
- 【事務局】 個々にはあるが総合的なものはない。
- 【委員】 この内容のものはない。
- 【事務局】 書と言うことで、書道関係はたくさんあるが、道具とかひっくるめて編集したものは前例がない。不可の方もいらっしゃるがその辺でご意見が特になければ、購入してもいいのかなと思います。
- 【委員】 可にします。こだわりがあるわけではなく、所蔵があるから。
- 【事務局】 購入とします。

選書資料7 『こと典百科叢書』について

- 【事務局】 可が2、不可が2ですので、ご協議をお願いします。
- 【委員】 百科事典多数ありと書いてある。書けないほどある。
- 【委員】 これこそ事務局預かりだと思う。いつまでたっても結論が出ないと思う。
- 【事務局】 事務局判断とさせていただきます。

選書資料8 『野生動物保護の辞典』について

- 【事務局】 可が2、保留が2ですので、ご協議をお願いします。
- 【委員】 類書が少ない。

- 【委員】 こういう本は、これから残しておかなくてはいけないと思う。
- 【委員】 前に出た本と出版年が近い。
- 【委員】 野生動物保護という項目が、参考図書としてないということだし反対と言う人がなければ購入してもいいと思う。
- 【委員】 今、環境問題とか生物多様性の問題とか、どんどん出てきているので少し重なってもいいと思う。話題にもなっている。
- 【事務局】 購入の方向で行きたいと思います。

選書資料9 『地球環境学事典』について

- 【事務局】 可が3、保留が1ですので、購入とします。

選書資料10 『森林大百科事典』について

- 【事務局】 可が2、保留が2ですので、ご協議をお願いします。
- 【委員】 可にしたが、森林という言葉は漠然として使っているが、学問的には、森林大系学とかいろいろある。産業別に言えば林業と分かれている。森林そのものを、病虫害から生産から総合的に扱うというものはあまりない。里山とか森林伐採とか森林保護とか言っているが、森林について、みなさんが、どれだけ造詣が深いかと言えばなかなかない。こま切れる知識はあると思うが、その分野までは立ち至ってない。
- 【委員】 説明書を読むと専門的らしいですが、一般の人が読むには適しているのかどうか。
- 【委員】 小学校高学年が図書館に来た時、森林消失とか地球保護とかテーマをもってきた時に、いろんな観点から扱いやすい本。そんなに難しくもない。
- 【委員】 私も同じ観点で選びました。子どもの総合的な学習に非常に役立つ項目立てで、中身は若干難しいなとは思いますが、無理ではないと思いました。
- 【委員】 学校の図書としても残しておくとうい。もう少しやさしいといい。
- 【委員】 それは、先生が補充すれば意外と面白いと思う。
- 【委員】 不可がない。
- 【委員】 購入の方向で行きたいと思います。

選書資料11 『近代日本軍隊・生活マニュアル資料集成』について

- 【事務局】 不可が3、保留が1ですので、購入不可とします。

選書資料 1 2 『教育こそ日本の命』について

【事務局】 当日追加の資料について、ご協議をお願いします。

【委員】 教育の歴史内容を網羅している。今文科省が揺れ動いているので、それを日本の原点に直せと言っているようには感じるが、図書館に必要なかは疑問。

【委員】 教育実態がどうのと書いてあるが、ある種の思想をもった人たちが、大きく軸を変えてみた教育論であり、一般的な教育論ではない。図書館には不必要。日本の今の教育を三流と言いきっている。消えゆく良き伝統（名門校）のことをみただけでどういう意図で書いているかが分かる。旧制の復古主義の偏見をもった立場で書いている。図書館におく必要はない。

【事務局】 購入不可とします。